

1970年9月4日のアジェンデ大統領選挙当選から何を学ぶか

ジョージ・ワシントン大学付属の国家安全保障アーカイブ (NSA) というサイトがあります。米国の数々の秘密作戦などの外交文書の開示を政府と交渉し、開示された文書を公開しています。 <https://nsarchive.gwu.edu/>

今回は、「アジェンデ、勝つ」というタイトルで、1970年9月4日のチリのサルバドル・アジェンデの大統領選挙勝利 50 周年記念の論文と資料を掲載しました。

この選挙は、人口 8,884,768 人、登録有権者数 3,539,7471 人のチリで、投票者数 2,962,748 人、投票率 83.7%でした。社会党・共産党・急進党・労働組合などが結集した人民連合の統一候補、社会党のアジェンデは、得票数 1,075,616 票、36.63%を獲得し、国民党のアレッサンドリ 1,036,278 票、35.29%、キリスト教民主党のトミッチ 824,849 票 28.08%を破りました。実際の政権は、10月24日に国会の投票で、アジェンデ 153 票、アレッサンドリ 35 票、白票 7 票で、上下両院合同会議で指名し、成立しました。

大統領選挙前から、米国政府は、アジェンデの当選はまさかないと見なしていましたが、結果は予測を裏切り、アジェンデ 1 位、アレッサンドリ 2 位という結果でした。チリ駐在の米国大使エドワード・コリー大使は、その時の驚きぶりを「アジェンデ、勝つ」と本省に公電を打っています。この日から 70 年 11 月 3 日の大統領就任までに、クーデターを起こしてアジェンデを就任させないようにする作戦が始まります。NSA の表現によれば、「ニクソンが指令し、キッシンジャーが監修し、CIA が実行した」妨害作戦が開始します。

その作戦の中の秘密文書に、9月15日付のヘルムズ CIA 長官がニクソン大統領から受けたアジェンデ政権転覆指示のメモ文書があります。このような露骨な主権の侵害、内政干渉はありませんが、こうした無法な政策は、アメリカ外交の DNA として強く組み込まれており、今でも変わっていないようです。ブッシュ大統領も、オバマ大統領も、トランプ大統領ほどの無原則なものではありませんが、イラン、キューバ、ベネズエラ、ニカラグアなどに対して国際法違反の制裁を科し、政権の転覆を狙っています。

特に、共和党のマルコ・ルビオ上院議員は、トランプ大統領にオクトーバー・サプライズとしてベネズエラに軍事進攻を行えば大統領選に勝利することができると進言しています (20.08.25 Efecto Cocuyo)。これらは、表面に出ているニュースですが、トランプ政権内では、一層陰湿な秘密作戦が取られているかもしれません。今回の NSA の記事はそうした想像をかきたてるものでした。

以下は、ヘルムズ CIA 長官の 9 月 15 日メモ。秘密扱い。97 年 10 月 14 日、27 年振りに公開。

SECRET

MEETING WITH PRESIDENT
ON CHILE AT 1525 SEPT 15, '70
PRESENT: JOHN MITCHELL & HENRY KISSINGER

1 in 10 chance perhaps, but save Chile!
with spending
not involved with involvement
no involvement of embassy
\$5,000,000 available, more if necessary
full-time job - best men we have
same plan
make the emergency screen
48 hours for plan of action



White papers, etc., etc.
inclusion

MEETING WITH THE PRESIDENT
ON CHILE
25, SEPTEMBER 1970 -- PRESENT WERE: JOHN MITCHELL AND HENRY KISSINGER

DECLASSIFIED
E.O. 12958 Sec. 3.6

HR 98-8, 852 CIA Hr. 5/2/97

SECRET

By KBR/NARA, Date 10/14/97

(2020年9月5日 新藤通弘)